

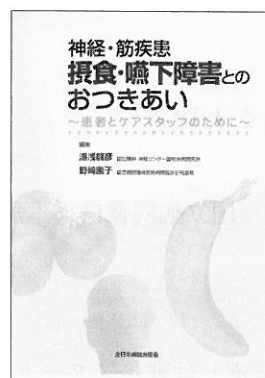
図書紹介

神経・筋疾患 摂食・嚥下障害とのおつきあい —患者とケアスタッフのために—

全日本病院出版会

2007年9月 初版 ISBN：978-4-88117-037-3 C3047

定価：4,935円（本体4,700円＋税）



編集 湯浅龍彦（国立精神・神経センター国府台病院部長）
野崎園子（国立病院機構徳島病院臨床研究部長）

食は人生の楽しみである。しかし、神経・筋疾患の患者では、摂食・嚥下障害のためにこの楽しみが奪われることもある。また、実際にそれに気づかず、突然の窒息や誤嚥性肺炎で入院する患者もある。摂食・嚥下障害に対する医療は近年少しずつ認識されるようになり、国内においてもさまざまな学会や研究活動が行われている。神経・筋疾患に重点を置いて研究成果を発表する日本神経・筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会も発足した。

神経・筋疾患の摂食・嚥下障害については、「重度である」「進行する」「訓練の効果についてエビデンスが少ない」という思いから、医療側にもやや距離感があるというのが現実である。しかし、これらの疾患にこそ医療の手を差しのべなければならず、現場の医療スタッフは手探りの中から少しずつ経験を積み重ねてきた。

本書では、摂食・嚥下障害医療に実際に携わり、この分野に造詣の深い諸先生方や、神経・筋疾患領域で働く医療スタッフの方に、基礎知識や疾患の特徴、ケアについてわかりやすく解説していただいた。摂食・嚥下障害に悩んでいる神経・筋疾患の患者が、食卓を囲んだ家族団欒を取り戻せるようにという執筆者一同の願いが込められている。

また、これから嚥下チーム医療を立ち上げようとされている医療機関や在宅ケアスタッフの方にも、ご参考になるのではないかと自負している。さらに、これから現場で活躍される医学生やメディカル部門の学生の方々が、神経・筋疾患における摂食・嚥下障害の基礎知識を得るきっかけになればと思っている。

この本を手にしてくださった読者には、摂食・嚥下障害対策と栄養管理という基礎なくしては、先進的な医療も効を奏しないというメッセージを送りたい。

（徳島病院 臨床研究部 野崎園子）

このコーナーは会員の自著を紹介しております。

図書紹介 原稿募集

このコーナーへの投稿をお待ちしております。ご執筆された著書などの紹介を掲載しています。600～1,000字程度で編集室までお寄せください。

〒152-8902 目黒区東が丘2-5-1
国立医療学会誌「医療」編集室「図書紹介コーナー」係宛
e-mail：iryo@kankakuki.go.jp
Fax：03-3411-9421